
令和6年度予算第二特別委員会質問要旨

○ 局別審査

令和6年3月4日

質問者（質問順）

- 1 藤崎 浩太郎 委員（立憲党）
- 2 鴨志田 啓介 委員（自民党）
- 3 大桑 正貴 委員（自民党）
- 4 安西 英俊 委員（公明党）
- 5 二井 くみよ 委員（民主フ）

デジタル統括本部

局 別 審 査

1 藤 崎 浩太郎 委員（立憲党）

1 オンライン手続の利用状況について

- (1) 現在のオンライン手続の利用状況について伺いたい。
 - (2) オンライン利用率向上により市民にお返しできると考える時間について伺いたい。
 - (3) 令和6年度のオンライン利用率向上の取組について伺いたい。
- (要望) オンライン利用率の向上に向け、しっかりと取り組んでいただきたい。

2 民間事業者と連携したスマートフォン講習会の展開について

- (1) 民間事業者と連携した講習会の実績について伺いたい。
- (2) 民間事業者と連携した講習会を活用してオンライン手続の利用を促進すべきと考えるがどうか。

3 業務の効率化について

- (1) 生成A I 実証利用の状況について伺いたい。
- (2) 生成A I の活用を促す取組を積極的に進めていくべきと考えるがどうか。
- (3) R P A のライセンス拡充によって解決される課題について伺いたい。

2 鴨志田 啓 介 委員（自民党）

1 UI／UXに配慮したシステムデザインの実現について

- (1) UI／UX向上の取組における、デジタル統括本部による支援の現状について伺いたい。
- (2) UXをさらに向上させるために、今後必要と考える具体的な取組について伺いたい。
- (要望) より一層利用者目線を大切に行政サービスを提供し、UXの向上が実現できるよう、システム所管課に対して引き続き支援していただきたい。

2 住民情報系システムの標準化対応について

- (1) 目標期限までに移行可能な業務に関する具体的な取組状況について伺いたい。
- (2) 市民サービスへの影響を抑えるために重要と考えている点について伺いたい。
- (3) 本市のシステム標準化においてデジタル統括本部が果たす役割について伺いたい。
- (要望) 全体を俯瞰する立場から、各業務所管局の取組を的確にバックアップしていただきたい。

3 大 桑 正 貴 委員（自民党）

1 Link-Up! YOKOHAMA について

(1) プレ運用での具体的な取組について伺いたい。

(2) 災害時における具体的な活用について伺いたい。

(3) 能登半島支援での経験を踏まえた推進について伺いたい。

(意見)Link-Up! YOKOHAMA の取組により職員の新しい働き方を実現するとともに、災害に強い横浜につながることを期待している。

4 安西英俊委員（公明党）

1 デジタル区役所モデル区発の取組の18区展開について

- (1) デジタル区役所モデル区の取組成果について伺いたい。
 - (2) 横展開の支援方法について伺いたい。
 - (3) 窓口体験調査によって得られた気づきについて伺いたい。
 - (4) 窓口体験調査を踏まえた今後の展開について伺いたい。
- (要望) モデル区の職員が2年間取り組んだ成果をしっかりと横展開し、今後の区役所におけるDXの検討につなげていただきたい。

2 スマートフォン相談員の育成について

- (1) 港南区スマートフォン相談員育成の現状について伺いたい。
- (2) スマートフォン相談員の今後の方向性について伺いたい。

3 DXポータルサイト「横浜DIGITAL窓口」について

- (1) オンライン手続ナビの狙いについて伺いたい。
 - (2) 市民の皆様がオンライン手続ナビを知ってもらうための広報が重要と考えるかどうか。
 - (3) 本市のオンライン手続の総合窓口となるように、オンライン手続ナビに手続を集約させていくべきと考えるかどうか。
 - (4) 市民の皆様が必要な情報にアクセスしやすい環境を整えていくべきと考えるかどうか。
- (要望) 市民目線に立った情報発信に取り組んでいただきたい。

5 二 井 くみよ 委員（民主フ）

1 DXポータルサイトとデジタルデバインド対策について

- (1) DXポータルサイトとリンクする申請手続きページの改善に向けた取組について伺いたい。
- (2) DXを推進するにあたって、デジタルデバインド対策の視点も含めて各区局をサポートしていくべきと考えるがどうか。